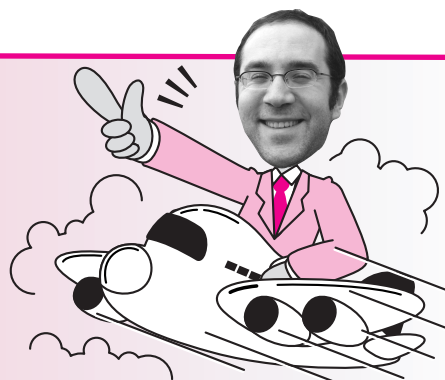


オレリエン・ハンターの スイスへの誘い

— 春 休 み —



—— 卒園、おめでとう！

—— 卒業、おめでとう！

楽しく過ごした日々、友達と仲良く遊んだり、喧嘩したり、仲直りしたりして過ごした日々、勉強したり、問題を解いたりして嬉しかった日々… たくさんの思い出を胸に秘めて、遊んでくれた仲間と教えてくれた先生と別れる季節が来ました。



卒業証書を受ける
子のタングラム



前回のタングラムの答え

学年が終わって、春休みになります。そして二週間も経たないうちに、それぞれが小学生になったり、中学生になったり、高校生になったりして、入学式が行われ、新学年が始まります。

新しい学校、新しい先生、新しい同級生、新しい文具、新しいランドセル、新しい鞆… 子供の胸が不安と期待に満ちているでしょう。

素直で、前向きで、たくさんの新しいことに挑戦して、好奇心を持ちながらしっかり勉強するように、心から願っています！

日本では新学年が4月に始まりますけど、スイスでは新学年が8月下旬に始まります。従って、休みの意味も違ってきます。今回は、日本とスイスの学校の休みについて書きたいと思います。

まず、休みを決める組織について話しておきたいですが、スイスには日本の文部科学省みたいな行政組織はありません。え、と思う人がいるでしょうけど、正確に言うと、文部省が各州にあります。連邦体制の特徴の一つです。従って、州によって教育制度が全く違ったり、似ている部分があったりします。具体的な例を挙げると、私の出身地、ジュネーブ州の中学校は3年制で、高校4年制ですが、鏡野町の友好都市、イヴェルドン市のあるヴォー州の中学校は4年制で、高校は3年制です。結果的にジュネーブ州の人もヴォー州の人も同じ19才で高校を卒業しますが、感覚は

ちょっと違うと言えるでしょう。

さて、休みの話に戻りますが、日本で教育を受けたわけではないので、4月に始まる学年というのはどんな感覚かわからないため、ジュネーブ州での休みの意味を学年が始まってからの順番で説明します。

1) じゃが芋の休み：変わった名前ですけど、ジュネーブの10月といえばじゃが芋を収穫する時期で、子供たちが家の畑を手伝うための休みでした。今は機械の発達で、畑で働く必要がなくなって、短い旅行をする人が多いです。

2) クリスマス休み：年末年始の休み。日本と違って家族や親戚が集まるクリスマスのほうがメインで、そう呼ばれます。スキー場でホワイト・クリスマスを過ごす人も結構います。

3) スキー休み：アルプスの国スイスですが、皆がスキーを上手なわけではありません。だから、スキーを促進するために設けられた2月の休み。小さい時に両親と、高校時代に友達と山に行きました。そして毎年繰り返しているうちにスキーが上達するのは確かですけど…

4) イースター休み：日本で言う春休み。イースターとはキリスト教において重要な「復活祭」のことです。

5) 夏休み：日本の夏休みと比べるとスイスのほうが長いんですけど、それは夏休みを境にして学年が移るからだだと思います。夏休みになると学校のことを全部忘れて、海やプールへ泳ぎに行ったり、山へ散歩やキャンプに行ったりして過ごします。そして気分転換できた頃に新学年が始まります。同級生と学校で再会したとき、どんな夏休みを過ごしたかというのを語り合うのがとても楽しかったのをよく覚えています。

スイスの夏休みと同じように、日本の春休みは子供にとって気分転換と一年間勉強していくためのエネルギーを溜める大切な時期です。

では、皆さん、新学年が始まる前に気分を切り替えて、楽しい春休みを過ごしてください！



鏡野中学校の場合

休みの種類	時期	期間
休日、祝日	年中	89
ゴールデンウィーク	5月上旬	3
夏休み	7月中旬～8月下旬	40
冬休み	12月下旬～1月上旬	18
春休み	3月下旬～4月上旬	12
合計		162

ジュネーブ州の場合

休みの種類	時期	期間
休日、祝日	年中	75
じゃが芋の休み	10月	9
クリスマス休み	12月下旬～1月上旬	16
スキー休み	2月上旬	9
イースター休み	3月下旬～4月上旬	11
夏休み	7月上旬～8月下旬	58
合計		178